



2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata



2024～25 年度
新潟ロータリークラブ会長

吉田 和弘

新潟 RC 4 月第 2 例会 (2025.4.8) No.3550

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間 (吉田和弘会長)

ロータリー重点テーマ「環境」について

先週の例会後、前橋ロータリークラブと水戸ロータリークラブとの合同観桜会に、事務局の大倉さんを含む 8 名で出席してきました。寒の戻りで、桜は 3 分咲きという状態でしたが、女性落語家で、前橋市出身の林家 づる子師匠の高座が催されるなど、楽しい懇親会でした。前橋クラブから、85 周年に多くの方が来ていただけることになっています。

さらに 4 月 6 日の日曜日には、新津ロータリークラブの 70 周年記念式典にも参加して参りました。この様子は、また来週の例会でご紹介したいと思います。このようにさまざまなクラブと交流できるのは、ロータリー活動の醍醐味だと思います。

さて今日は、ロータリーの重点テーマの一つである「環境」について、お話をしてみたいと思います。マイロータリーによりますと、「ロータリーは、人類 共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じ、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します」と記されています。昨今の気候変動や多発する自然災害に対し、様々なプロジェクトやプログラムが企画、実行されていますが、こうした活動の内容を調べるなかで、私が注目したのは「食品ロス」についてです。

気候の変化、不順によってコメの収穫量が減り、「令和の米騒動」と呼ばれる社会問題になりました。スーパーの棚にお米がない、一気に価格が倍になった、制度の主旨を押し曲げて備蓄米を放出するなど、毎日の主食が十分確保できないかもしれないとなれば、日本中がパニックになるのも当然です。それなのに、スーパーの総菜売り場にも、コンビニの弁当コーナーにも、寿司やおにぎりは「余るほど」陳列されています。このような状況であっても、食品ロスは減らないのです。

日本の食品ロス量は、令和 4 年度 (2022 年度) で約 472 万トンと推計され、これは、毎日大型トラック

(10 トン車) 約 1,290 台分の食品を廃棄している量に相当するそうです。

世界で生産される果物、野菜、肉、その他の食べ物の 3 分の 1 は、食卓に上がることがありません。代わりに、畑で未収穫のまま腐ったり、貯蔵庫で台無しになったり、冷蔵庫の奥で忘れられたりしてゴミとなります。食べられないほどの食糧を生産すれば、エネルギー、土地、肥料などの資源の浪費となります。ゴミ埋め立て地では、食品廃棄物から温室効果ガスであるメタンガスが発生します。食品の生産から廃棄までの全過程で排出される二酸化炭素は、全世界の温室効果ガス排出量の約 8% を占めるというデータがあります。

それに対して、世界中のロータリークラブ、ロータリアンが活動していることも、マイロータリーやロータリーの友で紹介されていますが、それより日々の生活の中で、私たちが一人ずつ取り組めることがあると思います。

例えば各家庭でできる食品ロス対策として、食べ切れる分だけ作り、材料もできる限り使い切るように心がける、材料を冷凍するなど、それぞれの食材の傷みにくい保存方法を調べ、保存した食べ物を忘れずに使うことなどがあります。

外食をするときも食べ切れる量を注文するようにして、可能であれば余った料理を持ち帰ることも対策のひとつです。ちなみに、注文時に食べる量を少なくしてくれる飲食店は、この先必ず重宝されます。幅広い世代に支持されているお店は、分量をコントロールできる特徴があると思います。

そして宴会です。酒が入ると、料理を召し上がらない方も多いです。しかし、これはもったいない。宴会開始の 30 分と終了前の 10 分は自分の席で料理を食べる「3010 運動」というのがありますが、前橋の観桜例会ではラスト 10 分、着席するようにアナウンスがされていました。

4 月 22 日の祝賀会でも、それを見習って、お料理をきれいに平らげたいと思います。

◎今週のお店紹介 鮎 和食 ながしま
新発田市諏訪町 1-2-10

◎今週のミニスピーチ

・梅澤哲雄 JA 新潟電算センター代表取締役社長

(3) ロータリーの友ご紹介 (塩野貴義広報会報雑誌委員)

(4) 佐藤邦栄会長エレクトより次年度委員会について

(5) 新会員の紹介



東北電力(株)新潟支店
執行役員
新潟支店長 五十嵐弘幸君
ご 紹 介 敦井 栄一君
所属委員会 ニコニコボックス委員

東北電力新潟支店の五十嵐弘幸と申します。新潟ロータリークラブへの入会をお認めいただき、大変光栄に存じます。大学での4年間で東北電力に入社してからの7年間で上越市・新潟市で過ごしました。97年に転勤により新潟を離れてからは新潟での勤務機会に恵まれずにおりましたが、このたび念願が叶い28年ぶりに「青春のふるさと」である新潟での勤務となりました。2016年から2年ほど宮城県塩釜市で勤務した時に塩釜ロータリークラブに入会させていただきました。再びロータリークラブの一員となりましたので、奉仕の心をしっかりと学びたいと思います。高校時代は野球少年でありましたが、いまは上達しないゴルフに粘り強く向き合っています。この点も含めご指導の程よろしくお願い申し上げます。なお「五十嵐」の姓は山形では「いがらし」と濁るのですが、「が」でも「か」でも可です。

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

徳永 昭輝君 織戸 潔君

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(坂井 賢一委員長)

織戸 潔君 徳永 昭輝君

石橋 正利君

青少年育成基金寄付発表(五月女政義委員長)

本間 彊君 五月女政義君

(7) ニコニコボックス紹介 (佐藤 明委員)

・五十嵐弘幸君 伝統ある新潟ロータリークラブに入会させていただき、ニコニコします。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

・敦井 栄一君 東北電力 五十嵐弘幸支店長の推薦人になりました。名誉なことです。

・江波 恒夫君 五十嵐さん、新潟 RC への入会歓迎します。‘酒田’生まれで初任地は‘高田’とのこと。私は‘高田’生まれで初任地は‘酒田’です。偶然かとは思いますが何かご縁を感じます。ニコニコ!

・坂本 信君 結婚記念日のお花、ありがとうございました。玄関においてニコニコしています。

・小飯田澄雄君 誕生日のワインありがとうございました。

(8) 幹事報告 (小林 慶直幹事)

・例会終了後、ロビーにて新会員オリエンテーションを開催致します。

(9) 会員スピーチ「母子の健康月間」によせて
日本における母子の健康の現状

～ 少子化の問題 ～

ミャンマーにおける母子の健康の現状 ～
とくなが女性クリニック 徳永昭輝院長

(10) 4月8日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
76	75	52	69.33%

Zoom 参加 0 名

4月15日の例会プログラム

会員スピーチ「ゼネコンが取り組む気候変動対策」

清水建設北陸支店新潟営業所長 澤田 尚君

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>